平成25年6月
勝浦市議会定例会会議録（第5号）

平成25年6月20日

○出席議員 18人

1番 磯野典正君	2番 鈴木克己君	3番 戸坂健一君
4番 藤本治君	5番 渡辺玄正君	6番 根本譲君
7番 佐藤啓史君	8番 岩瀬洋男君	9番 松崎栄二君
10番 吉野修文君	11番 岩瀬義信君	12番 寺尾重雄君
13番 土屋元君	14番 黒川民雄君	15番 末吉定夫君
16番 丸昭君	17番 刈込欣一君	18番 板橋甫君

○欠席議員 なし

○地方自治法第121条の規定により出席した者の職氏名

市長 猿田寿男君	副市長 関重夫君
教育長 藤平益貴君	総務課長 藤江信義君
企画課長 関富夫君	財政課長 関利幸君
税務課長 鈴木克己君	市民課長 渡辺直一君
介護健康課長 大鐘裕之君	生活環境課長兼 清掃センター所長 西川一男君
都市建設課長 藤平喜之君	農林水産課長 関善之君
観光商工課長 玉田忠一君	福祉課長 花ヶ崎善一君
水道課長 岩瀬健一君	会計課長 岩瀬義博君
教育課長 軽込貫一君	社会教育課長 菅根光弘君

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局長 目羅洋美君	議事係長 屋代浩君
------------	-----------

議事日程

議事日程第5号

第1 議案上程・委員長報告・質疑・討論・採決

（総務常任委員長）

議案第31号 一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定について

議案第32号 勝浦市税条例等の一部を改正する条例の制定について

議案第37号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算

(教育民生常任委員長)

議案第33号 勝浦市子ども・子育て会議条例の制定について

議案第34号 勝浦市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例の制定について

議案第35号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

請願第3号 「国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

(建設経済常任委員長)

議案第36号 勝浦市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

請願第1号 TPP交渉参加に関する意見書の提出を求める請願

第2 発議案上程・説明・質疑・討論・採決

発議案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について

発議案第5号 教育予算拡充に関する意見書について

第3 報告

報告第1号 平成24年度勝浦市一般会計継続費繰越計算書について

報告第2号 平成24年度勝浦市一般会計繰越明許費繰越計算書について

報告第3号 平成24年度勝浦市一般会計事故繰越し繰越計算書について

開 議

平成25年6月20日(木) 午前10時開議

○議長(岩瀬義信君) ただいま出席議員は18人で全員でありますので、議会はここに成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元へ配布したとおりでありますので、それによってご承知を願います。

議案上程・委員長報告・質疑・討論・採決

○議長(岩瀬義信君) 日程第1、議案を上程いたします。

議案第31号 一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定について、議案第32号 勝浦市税条例等の一部を改正する条例の制定について、議案第37号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算、以上3件を一括議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。佐藤総務常任委員長。

[総務常任委員長 佐藤啓史君登壇]

○総務常任委員長(佐藤啓史君) 議長よりご指名がありましたので、今期定例会において総務常任委員会に付託されました議案の審査経過と結果について、その概要をご報告いたします。

当総務常任委員会は、付託されました事件を審査するため、去る6月17日、委員会を開催し、執行部より市長、副市長、教育長及び関係課長の出席を求め、その審査を終了いたしました。

その審査結果につきましては、お手元へ配布の委員会審査報告書のとおり、議案第31号 一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定について、議案第32号 勝浦市税条例等の一部を改正する条例の制定について、議案第37号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算、以上3件につきまして、議案第31号は賛成多数で、議案第32号及び議案第37号は全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査の過程において、議案第31号で、国家公務員給与の7.8%の削減と同様に、地方公務員給与削減を国が押しつけることとあわせて、地方交付税を国の政策誘導に利用することは断じて許されないとの反対討論があり、議案第37号では、主に子ども・子育て支援事業計画策定基礎調査業務委託の内容や緊急雇用創出事業である広報誌等電子化業務委託や市道調査点検台帳作成業務委託について質疑が行われました。

また、議案第37号を審査するに当たり、(仮称)くぼやま公園整備箇所の現地調査を実施したことを申し添えます。

以上をもちまして、総務常任委員長の報告を終わります。

○議長(岩瀬義信君) これより委員長の報告に対する質疑に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(岩瀬義信君) これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入るのでありますが、前もって通告がありましたので、これを許します。

初めに、藤本 治議員。

〔4番 藤本 治君登壇〕

○4番(藤本 治君) 私は、ただいまの総務常任委員長の報告の議案第31号 一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定について、反対の立場で討論を行います。

国家公務員給与の削減分7.8%と同様に、地方公務員給与の削減を国が地方に押しつけるために、地方交付税を一律に削減したことは前代未聞のやり方であり、断じて許されないものです。それはまず自治体が自主的に決める公務員給与への国の介入であり、地方自治の根本に抵触するものです。さらに、地方交付税は地方固有の財源、自由な一般財源であり、国が政策誘導に利用することは許されません。

また、地方公務員給与の削減は、地域経済に甚大な影響を与え、市民全体の所得低下、消費の萎縮、不況の悪循環を加速することになります。安倍首相自身が経済界に対して賃上げや一時金の増額を要請したこととも矛盾するものであり、国家公務員に続く地方公務員の給与削減はデフレ不況を一層深刻にするものです。

今回の地方公務員給与削減に大義は何もありません。憲法に二重に反するやり方で行われた国家公務員給与の削減を地方に強引に拡大するものです。その手法は、地方交付税を通じて住民サービスの低下か公務員給与の削減かの二者択一を迫る悪辣なものです。公務員と一般国民とを対立させながら行われておりますが、いずれは全国民から所得を奪い、20兆円もの負担増を押しつける消費税増税、社会保障削減への道を開くためのものです。

議会は道理のないこの条例の制定を認めるべきではありません。以上の理由により、条例の

制定に反対を表明し、討論を終わります。

○議長（岩瀬義信君） 次に、末吉定夫議員。

〔15番 末吉定夫君登壇〕

○15番（末吉定夫君） おはようございます。私は、議案第31号 一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定について、賛成の立場で討論をいたします。

私は、国の人事院や県の人事委員会の勧告に基づく一般職の給与改定ではない点や給与削減を前提に地方交付税交付金を減額する今回の国の措置に対しては問題点があると考えますが、次の理由から本条例の制定はやむを得ない措置であり、賛意を表するものであります。

その理由の1つ目は、国からの要請理由にある東日本大震災からの復興を初め、防災・減災事業の実施や地域の活性化等が急務であり、国と地方が一丸となり、日本再生のために必要な措置をとることに対して一定の理解ができること。

2つ目は、国では昨年4月から2年間、一般職の給与を平均7.8%引き下げ、これを踏まえた国からの要請に基づき、千葉県でも国に準じ、平均7.8%減額が決定しておりますが、勝浦市においては、これまで独自に人件費の削減に取り組んでおり、また、地方交付税交付金減額による本市財政への影響を勘案しつつ、近隣市町の状況や地域経済への影響などを総合的に判断すると、一般職の給与の平均で2.3%削減は妥当なもの認められるということでございます。

私は、今ここで賛成討論を行っておりますけれども、非常に戸惑いと複雑な思いをしておるのが現状でございます。と申しますのは、私は二十数年前この勝浦市役所に奉職させていただきました。その一職員が立場はかわってこの壇上に上がって、市職員の方々の給与を削減するということに賛成するということは、私自身、皆さん方に対しまして、心からおわびを申し上げたく思っておる次第でございます。この議員の中にも市役所のOBの方がいらっしゃいますけれども、やはり同じ複雑な気持ちでおるのではないかなという気がいたします。

しかしながら、猿田市長におかれましては、本会議におかれまして、せんだって国のこの方針に対しまして反対の意思を表明した。しかしながら、地方交付税を減額され、そういった中では、やはり勝浦市財政のためには非常に厳しいということで、猿田市長は断腸の思いでこの国からの案を受け入れたというふうに理解しております。

国では、先ほども申し上げましたけれども、7.8%という率、勝浦市においては最小限と申しますか、一般職におかれまして2.3%、そして、市長、副市長等特別職におかれましては5%というような数字で今回この議会に提案されてきたものでございます。

私はこの議会に提案されました案件につきましては、反対するわけにはまいりません。先ほど申し上げましたとおり、職員の皆様方には本当に心から申しわけないと思っております。しかしながら議員の皆様方におかれましては、私の意をお酌み取りいただきまして、どうかこの案件につきましてはご賛同賜りますよう、心からお願いを申し上げまして、賛成の討論とさせていただきます。終わります。

○議長（岩瀬義信君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第31号 一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定についてを採決

いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手多数]

○議長（岩瀬義信君） 挙手多数であります。よって、議案第31号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、議案第32号 勝浦市税条例等の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手全員]

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、議案第32号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、議案第37号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算を採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手全員]

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、議案第37号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、議案第33号 勝浦市子ども・子育て会議条例の制定について、議案第34号 勝浦市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例の制定について、議案第35号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、請願案2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願、請願第3号 「国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願、以上5件を一括議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。土屋教育民生常任委員長。

[教育民生常任委員長 土屋 元君登壇]

○教育民生常任委員長（土屋 元君） 議長よりご指名がありましたので、今期定例会において教育民生常任委員会に付託されました議案の審査経過と結果について、その概要をご報告いたします。

当教育民生常任委員会は、付託されました事件を審査するため、去る6月18日、委員会を開催し、執行部より市長、副市長、教育長及び関係課長の出席を求め、その審査を終了いたしました。その審査結果につきましては、お手元へ配布の委員会審査報告書のとおり、議案第33号 勝浦市子ども・子育て会議条例の制定について、議案第34号 勝浦市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例の制定について、議案第35号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、以上3件につきましては、全員賛成で、原案のとおり可決すべ

きものと決定いたしました。

また、請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願、請願第3号 「国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願、以上2件につきましては、紹介議員に説明を求め、審査を行った結果、請願第2号につきましては、賛成多数で採択と決定いたしました。

請願第3号につきましては、義務教育の充実をまずは図ることが重要などの理由により、「現行高校授業料実質無償化制度を堅持する」という項目を除いて、一部採択すべきとの意見があり、これに全員賛成で、一部採択と決定いたしました。

以上をもちまして、教育民生常任委員長の報告を終わります。

○議長（岩瀬義信君） これより委員長の報告に対する質疑に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第33号 勝浦市子ども・子育て会議条例の制定についてを採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、議案第33号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、議案第34号 勝浦市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、議案第34号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、議案第35号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、議案第35号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願を採決いたします。本件に対する委員長の報告は採択であります。本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手多数〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手多数であります。よって、請願第2号は、採択と決しました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、請願第3号 「国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願を採決いたします。本件に対する委員長の報告は一部採択であります。本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、請願第3号は、一部採択と決しました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、議案第36号 勝浦市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について、請願第1号 「T P P交渉参加に関する意見書の提出を求める請願」、以上2件を一括議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。渡辺建設経済常任委員長。

〔建設経済常任委員長 渡辺玄正君登壇〕

○建設経済常任委員長（渡辺玄正君） 議長よりご指名がありましたので、今期定例会において建設経済常任委員会に付託されました議案の審査経過と結果について、その概要をご報告いたします。

当建設経済常任委員会は、付託されました事件を審査するため、去る6月18日、委員会を開催し、執行部より市長、副市長、教育長及び関係課長の出席を求め、その審査を終了いたしました。

その審査結果につきましては、お手元へ配布の委員会審査報告書のとおり、議案第36号 勝浦市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてにつきましては、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

また、請願第1号 「T P P交渉参加に関する意見書の提出を求める請願」につきましては、安倍首相が既にT P P交渉参加を表明している中、国においても議論が混沌としている状況にあり、本請願においても何を求めるのか趣旨が曖昧であるとの意見があり、今後の動向を注視していく必要があることから、継続して慎重に審議するため、議長に対しまして継続審査の申し出をした次第であります。

以上をもちまして、建設経済常任委員長の報告を終わります。

○議長（岩瀬義信君） これより委員長の報告に対する質疑に入るのでありますが、ただいまのどこ

る通告はありません。質疑はありませんか。藤本 治議員。

○4番(藤本 治君) 請願第1号 「T P P交渉参加に関する意見書の提出を求める請願」について継続審査という委員会の結果でございますが、これにつきまして質問させていただきます。

来月の7月22日はアメリカ議会の90日ルールの期限でありまして、この22日にアメリカ議会が日本の参加を承認した場合、7月15日からマレーシアにおいて開催されております25日までの、いわゆるT P P交渉会合に日本が23日以降25日まで、参加をするという意向をあらわしております。そのような現在こういうタイミングにおいてT P P交渉参加に関する意見を勝浦市議会として表明してほしいという請願の趣旨であります。これはあえてT P P交渉参加に反対する意見を上げてほしいという請願ではなくて、勝浦市議会がT P P交渉参加に関して、この重大な局面で意見を表明してほしいという請願なんです。継続審査という措置は、このタイミングでの意見書の提出ができなくなるということではないかと思うんです。

一方で、もし閉会中審査並びに来月早々にでも臨時議会が開催するならば、7月22日の前に意見を表明することは可能だということですが、そのような予定があるのかどうかご質問したいと思います。

○議長(岩瀬義信君) 答弁を求めます。渡辺建設経済常任委員長。

○建設経済常任委員長(渡辺玄正君) 1点目につきましては、藤本議員も傍聴に来ておりましたから、各委員の発言というものはお聞きになっていると思います。当委員会では、出された案件に対しまして、何を求めているのか明確ではない。各委員には請願の趣旨が十分に理解しにくいという思いが強く、継続が妥当との判断に至ったわけでございます。

2点目は、継続審議ということですから、委員会を開く予定があるのかなのかということですが、今のところは、直ちに委員会を開くということにはなっておりません。以上でございます。

○議長(岩瀬義信君) ほかに質疑はありませんか。藤本 治議員。

○4番(藤本 治君) 委員長のほうからは、請願の趣旨が曖昧で、それで継続にしたというご説明なんですけど、請願の趣旨は、勝浦市議会がT P Pの交渉参加に関して議会としての意見を表明してほしいという趣旨なんです。それは必ずしも交渉から撤退しろということに限らず、参加に当たってもっと慎重な判断をしてほしいとか、あるいは情報を公開してほしいとか、必ずしも反対ということを表示しないまでも、勝浦市議会としてT P P交渉に関する多くの市民の懸念をきちっと表明してほしいという趣旨の請願でありますので、どういう意見を表明するかは勝浦市議会のコンセンサスが何かによって定まるということでもあります。だから、このような時期に勝浦市議会が何も意見を発しないということが、かえって多くの市民が持っている懸念を代表して市議会は行動をとらないということになってしまうということなのであります。そういう点が今回の請願の趣旨でありますから、継続審査にするということが、勝浦市議会の意見をまとめるということで時間が必要だということとは違う説明になっているんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長(岩瀬義信君) 答弁を求めます。渡辺建設経済常任委員長。

○建設経済常任委員長(渡辺玄正君) 去る18日、藤本議員も傍聴しておりましたから、委員各位の意見というものは直接お聞きになっていたわけでございます。その中であって、どうしても十分に理解しにくいという思いが強く継続が多当だと、もうちょっと社会情勢を見ながら論議す

る必要があるという結論に至ったわけでございます。以上です。

○議長（岩瀬義信君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入るのでありますが、前もって通告がありましたので、これを許します。藤本 治議員。

〔4番 藤本 治君登壇〕

○4番（藤本 治君） 私は、ただいまの建設経済常任委員長の報告の請願第1号 「T P P交渉参加に関する意見書の提出を求める請願」について、継続審査とすべき判断に反対をし、請願を採択すべきであるとの立場で討論を行います。

今回、提出された請願は、日本の参加を承認するか否かのアメリカ議会の手続が終了する来月7月22日と、アメリカ議会の了解を得られれば、直後に7月25日までの開催が決まっているマレーシアでのT P P交渉会合に参加しようと日本政府が構えている現タイミングで出されたものであります。

そして、その意見書の内容は、T P P交渉参加に関して勝浦市議会として懸念の態度を表明してほしいというものであります。交渉から撤退すべきとの意見に限らず、情報を公開すべし、判断は慎重になど、どのような態度を表明するかは議会の判断に委ねられています。継続審査により慎重な審査の末、意見書を発議するには、建設経済常任委員会での閉会中審査と、臨時議会の開催が必要です。しかし、そのような保障は何らありません。あと1カ月で交渉に参加するというタイミングで、今こそ勝浦市の基幹産業である農林水産業にかかわる市民の声を代弁して、T P P交渉参加への懸念を表明する意見書を発することが必要であります。本請願を継続審査ではなく、本議会で採択することこそ必要であることを表明して、私の反対討論いたします。

○議長（岩瀬義信君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第36号 勝浦市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、議案第36号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、請願第1号 「T P P交渉参加に関する意見書の提出を求める請願」につきましては、建設経済常任委員長から、会議規則第103条の規定による閉会中の継続審査の申し出がありました。本件につきましては、建設経済常任委員長の報告のとおり、閉会中の継続審査に付することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手多数〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手多数であります。よって、請願第1号は、閉会中の継続審査に付することに決しました。

発議案上程・説明・質疑・討論・採決

○議長（岩瀬義信君） 日程第2、発議案を上程いたします。発議案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について、発議案第5号 教育予算拡充に関する意見書について、以上2件を一括議題といたします。職員に発議案を朗読させます。屋代係長。

〔職員朗読〕

○議長（岩瀬義信君） 発議者から提案理由の説明を求めます。土屋 元議員。

〔13番 土屋 元君登壇〕

○13番（土屋 元君） 議長よりご指名をいただきましたので、ただいま議題となりました発議案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について及び発議案第5号 教育予算拡充に関する意見書について、以上2件について提案理由の説明を申し上げます。

初めに、発議案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について申し上げます。

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかんにかかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものであります。

政府は、国家財政の悪化から同制度を見直し、その負担を地方に転嫁する意図のもとに、義務教育費国庫負担金の減額や義務教育費国庫負担制度そのものの廃止にも言及しています。

地方財政においても厳しさが増している今、義務教育費国庫負担制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮されます。

また、義務教育費国庫負担制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至であります。よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く要望します。

次に、発議案第5号 教育予算拡充に関する意見書について申し上げます。

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神にのっとり、日本の未来を担う子どもたちを心豊に教え、育てるという重要な使命を負っています。

しかし、現在日本の教育は、いじめ、不登校を初め、学級崩壊、少年による凶悪犯罪、さらには経済不況の中、経済格差から生じる教育格差等、さまざまな深刻な問題を抱えています。

また、東日本大震災、原子力発電所の事故からの復興はいまだ厳しい状況の中にあると言わざるを得ません。

一方、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や、教育環境の整備促進、学習指導要領の移行による授業時数の増加や小学校における外国語活動の必修等に伴う経

費の確保も急務であります。

千葉県及び県内各市町村においても、一人ひとりの個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成を目指していく必要があります。そのためのさまざまな教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状を見れば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠であります。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要があります。

そこで、以下の項目を中心に平成26年度に向けての予算の充実をしていただくことを強く要望します。

一つ、震災からの復興教育支援事業の拡充を十分に図ること。

一つ、少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること。

一つ、保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること。

一つ、現在の経済状況を鑑み、就学援助にかかわる予算を拡充すること。

一つ、子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること。

一つ、危険校舎、老朽校舎の改築やエアコン、洋式トイレ設置等の公立学校施設整備費を充実すること。

一つ、子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税を増額することなど。

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではありますが、必要な教育予算を確保することを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出しようとするものであります。何とぞ発議者の意をご賢察の上、よろしくご審議いただき、可決あらんことをお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○議長（岩瀬義信君） これより質疑に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております発議案第4号及び発議案第5号、以上2件につきましては、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） ご異議なしと認めます。よって、発議案第4号及び発議案第5号、以上2件については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬義信君） それでは討論を終結いたします。

これより発議案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書についてを採決いた

します。本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手多数〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手多数であります。よって、発議案第4号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬義信君） 次に、発議案第5号 教育予算拡充に関する意見書についてを採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬義信君） 挙手全員であります。よって、発議案第5号は、原案のとおり可決されました。

報 告

○議長（岩瀬義信君） 日程第3、報告であります。報告第1号 平成24年度勝浦市一般会計継続費繰越計算書について、報告第2号 平成24年度勝浦市一般会計繰越明許費繰越計算書について、報告第3号 平成24年度勝浦市一般会計事故繰越し繰越計算書について、以上3件について、市長の報告を求めます。猿田市長。

〔市長 猿田寿男君登壇〕

○市長（猿田寿男君） ただいま議題となりました報告第1号から報告第3号までについて申し上げます。

初めに、報告第1号 平成24年度勝浦市一般会計継続費繰越計算書についてであります。本件は、平成24年度勝浦市一般会計予算の継続費で、（仮称）市民文化会館建設事業に係る経費6,463万円を平成25年度へ繰り越すために調製した継続費繰越計算書であります。

次に、報告第2号 平成24年度勝浦市一般会計繰越明許費繰越計算書についてであります。本件は、平成24年度勝浦市一般会計予算の繰越明許費で、勝浦駅北口こ線人道橋維持補修工事や、各小中学校体育館の耐震補強改築事業など、合計17件に係る経費23億9,658万3,000円を平成25年度へ繰り越すために調製した繰越明許費繰越計算書であります。

次に、報告第3号 平成24年度勝浦市一般会計事故繰越し繰越計算書についてであります。本件は、平成24年度勝浦市一般会計予算の事故繰越しで、部原青年館改修工事及び管理業務委託ほか1件に係る1,497万3,000円を平成25年度へ繰り越すために調製した事故繰越し繰越計算書であります。

以上で、報告第1号から報告第3号までの説明を終わります。

○議長（岩瀬義信君） これをもって報告を終わります。

閉 会

○議長（岩瀬義信君） 以上をもちまして、今期定例会に付議されました事件はすべて議了いたしました。

これをもって平成25年6月勝浦市議会定例会を閉会いたします。

午前10時49分 閉会

本日の会議に付した事件

1. 議案第31号～議案第36号の総括審議
1. 請願第1号～請願第3号の総括審議
1. 発議案第4号～発議案第5号の総括審議
1. 報告第1号～報告第3号の報告

上記会議の顛末を記載しその相違ないことを証し署名する。

平成 年 月 日

勝 浦 市 議 会 議 長

署 名 議 員

署 名 議 員